

文章たんけん

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

次の日も、マコトに話しかけることはできなかった。マコトのほうも、わざわざぼくに声をかけたり、こっちを見たりしなかった。友だちといつもどおりにおしゃべりして、いつもどおりに笑って、いたずらをするジャンボやタッチにいつもどおり輪ゴムをぶつけて……。

みんな知らないんだ、なにも。マコトはまだ、転校のことをぼく以外の誰にも話していない。

最初は、ほんのちよつとだけ、それがうれしかった。ヒミツを知っているのはぼくだけだ、なんて。

でも、いまは違う。マコトがクラスでぼくにだけ転校の話を持ち明けたってことは、ほかの友だちより早く「バイバイ」を言いたかった10ってわけで、それって、誰よりも先にもっとお別れしたいってことでもあって……つまり、マコトはぼくのことなんて大嫌い……だからさっさと「バイバイ」しちゃって、ほかの友だちとは一日でも長く友だちでいたいから、まだなにも打ち明けてないのかもしれない。

胸がドキドキする。緊張するドキドキよりも、もっと痛い。ズキズキ、だ。

べつにいいけど。そんなの、べつにいいけど。ぼくだってマコトのこと、なんとも思っていないし。あいつ乱暴だし、そっけないし。そうだよ、転校したての頃はもっと無愛想で、「友だちなんていらぬ」みたいな態度だったのに、なんだよあいつ、みんなと笑っちゃって、楽しそう、チョンマゲをさわらせてたりして……。

昼休みが終わって教室に入るとき、外に出ようとしたマコトとドアの前でぶつかりそうになった。

もちろん——ぼくは、無視。そっぽを向いてマコトの横をすり抜けようとしたら、「ちよつと」と呼び止められた。しかたなく立ち止まって、しかたなく振り向いて、しかたなく「なんだよ」と言った。

「ツヨシ、このまえからなに怒ってるの？」
頬がカッと熱くなった。あわてて目をそらして、「べつに」と言った。

「怒ってるじゃない、やっぱり」

「怒ってないよ」

「怒ってるっ」

「怒ってないっ……そんなこと言うんだったら、マコトだって……」

「わたしがどうかした？」

「……どうもしてないけど」

そうなんだ。マコトはずーっと、いつものマコトで、クラスのみんなもずーっと、いつものみんな、ぼくだけ、ぼく一人だけ、面白くなくて、つまらなくて、イライラして、機嫌が悪くて……悲しくて、寂しくて……。

目をそらしたままにも言えなくなったぼくに、マコトは、ヒュー40 ウツとくちぶえを鳴らした。「ま、いいけどね」と軽く笑って、歩きだして、それっきりだった。

*1 ジャンボやタッチ「ぼく(ツヨシ)」やマコトと同じクラスの男の子。
(重松清『くちぶえ番長』)

*2 転校したての頃マコトは、四年生の四月に「ぼく」が通う小学校に転校してきた。

*3 チョンマゲマコトは、かみの毛を頭のとっぺんでチョンマゲのように結んでいる。

問一

線①「ヒミツを知っているのはぼくだけだ」とありますが、転校することをマコトから聞いたときの「ぼく」の気持ちとしてもっともよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 「ぼく」は口がかたいから、クラスのみんなに信じられないのだと、いばりたい気持ち。

イ マコトは「ぼく」のことをいちばん大切な友だちだと思っているのだと、得意に思う気持ち。

ウ マコトが転校することをクラスの友だちに早く教えてあげたこと、そわそわする気持ち。

エ 乱暴なマコトが転校すれば、このクラスは静かになるはずだと、ほっとした気持ち。

問二

線②「べつにいいけど。そんなの、べつにいいけど。ぼくだってマコトのこと、なんとも思っていないし」からは、どんなことがわかりますか。もっともよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 「ぼく」がマコトのことを本当は嫌いだということ。

イ 「ぼく」がマコトの勝手な行動を許せないでいること。

ウ 「ぼく」がマコトに対して興味がなくなったこと。

エ 「ぼく」がマコトに対して意地を張っていること。

問三

線③「『ちよつと』と呼び止められた」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとしてもっともよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア マコトに話しかけられたことが、内心うれしかった。

イ マコトとは話をしないと決めていたので、どうでもよかった。

ウ 無視しようとしたのに呼び止められたので、ふゆかいだった。

エ 「ちよつと」という呼び止め方に腹が立った。

問四

線④「頬がカッと熱くなった」とありますが、このとき、「ぼく」の「頬がカッと熱くなった」のはなぜですか。もっともよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア マコトが「ぼく」のことを気にしていたことがわかって、照れくさかったから。

イ ぶつかりそうになったのにもかかわらず、あやまらなかった

マコトの失礼な態度に腹が立ったから。

ウ 怒っていることをマコトに気づかれていたことが、はずかし

かったから。

エ 「ぼく」が怒っている理由をマコトがわかっていることを知

って、あきれたから。

問五

線⑤「ぼくだけ、ぼく一人だけ、面白くなくて……悲しくて、寂しくて」とありますが、「ぼく」がこんな気持ちになったのはなぜですか。次の□にあてはまることを文中から十五字で書きぬきなさい。

・マコトがクラスで「ぼく」にだけ転校の話を持ち明けてくれたことが、逆に「ぼく」を不安にさせ、□なのではないかと思うようになっていたから。

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

P 29

- (1) 銭湯
- (2) 陛下
- (3) 訪
- (4) 翌年
- (5) 勤労
- (6) 勤
- (7) 別冊
- (8) 閉会

P 30

〔文章たんけん〕

1 問一 (一) マコトに「転校するな！」 (二) マコトが一瞬

問二 教室でマコト

問三 ウ

問四 泣きだしてしまいそう

問五 意外だった

問六 イ

問七 もう、ワンのことを忘れてしまったんだろうか、と考えた。

解説

問一 8～12行目から、だれに何と言ったか、言われた相手がどんな反応をしたかをとらえる。

問二 「転校するな！」と言ったことで、「ぼく」はマコトにそれまでのように接することができなくなっていることを読み取る。

問三 「」で囲まれた部分には、「あんなこと言わなければよかった」という内容の文がくり返されていることに注目する。

問四 直後の二文に、「……なんでもない」と言ったときの行動や気持ちが書かれている。

問五 「意外」は、考えていたことと非常にちがっていること。

問六・七 問五と関連。「ぼく」とママの、ワンに関するることについての言動のちがいをおさえる。

P 33

- (1) 開幕
- (2) 卵
- (3) 激減
- (4) 穴
- (5) 善
- (6) 引退
- (7) 暮
- (8) 郵便

P 34

〔文章たんけん〕

1 問一 イ 問二 エ 問三 ア 問四 ウ

問五 マコトはぼくのことなんて大嫌い

解説

問一 直前に「それがうれしかった」とあることに注目する。「それ」とは、マコトが転校のことを「ぼく」以外の誰にも話していないこと。アは「口がかたいから、クラスの人々に信らわされてい」は本文からはわからない。

問二 直前の「胸がドキドキする……ズキズキ、だ」が「ぼく」の本心であることから考える。

問三 直後の一文に「しかたなく」が三回くり返されているが、これは「ぼく」の本心ではないことをとらえる。

問四 「しかたなく」「なんだよ」と言った「」のにもかかわらず、怒っていることをマコトに見破られていたので、「ぼく」は、とてもはにかしかったのである。

問五 第四段落に、「ぼく」がマコトの心情についてどのように考えたかが書かれている。

P 32

〔物語パズル〕

- ① そんごくう
- ② デュマ
- ③ またさぶろう
- ④ ロビンソン
- ⑤ フランダース
- ⑥ ごんぎつね
- ⑦ ねこ
- ⑧ アルプス
- ⑨ アンデルセン
- ⑩ ガリバー

P 36

〔ことば・トバ・言葉〕

- 1 (1) (1) エ
- 2 (2) (2) ア
- 3 (3) (3) オ
- 4 (4) (4) ウ
- 5 (5) (5) イ
- 6 (6) (6) エ
- 7 (7) (7) オ
- 8 (8) (8) ウ
- 9 (9) (9) オ
- 10 (10) (10) エ

P 37

- (1) 千
- (2) 千潮
- (3) 批判
- (4) 神秘
- (5) 忘
- (6) 秘密
- (7) 延長
- (8) 延

P 38
〔文章たんけん〕

1 問一 つまらない 問二 だめだよ呟えた。

問三 ワンの小屋の前 問四 ウ

問五 a 胸の中 b ワンのことはいつでも思いだせる

問六 ウ

解説

問四 パパのそのあとの話の展開から考える。

問五 a パパが「自分の胸」に指を当てながら「ここにある」や「ここにいる」と言っていることから考える。

問六 「マコトくんだって同じだよ……ずーっと」ということは、「ぼく」がマコトを好きだということを、パパがわかったうえで発言である。

P 40

〔「いびき・リトバ・言葉」〕

1 (1) エ (2) ア (3) ウ (4) イ

2 (1) ア (2) エ

3 (1) ア (2) ア

替

① 書 ② 箱 ③ 園 ④ 人 ⑤ 利

⑥ 路 ⑦ 車 ⑧ 親(手・人) ⑨ 学 ⑩ 題

⑪ 前

地球環境のしくみ (1)

P 43

替

(1) 劇場 (2) 気骨 (3) 貯蔵 (4) 強敵 (5) 意欲

(6) 胃 (7) 孝行 (8) 姿

P 44

〔文章たんけん〕

1 問一 地球が温暖化する・南極や北極の陸地の上にある雪や氷

問二 ④〔段落〕 ⑥〔段落〕

問三 ウ

問四 イ

問五 ⑨〔段落〕

問六 エ

解説

問一 海の水が増える原因が説明されている⑦段落に着目する。

問二 国や地域の名前が書かれている段落に着目する。

問三 「熱が逃げています」という内容と、「熱(赤外線)を吸収したり、吸収した熱をふたたび放出して地表にもどす」という逆の内容をつなぐことがあてはまる。

問四 直前に「熱の逃げるのをふせぐ」という意味で」とあることに着目する。「熱の逃げるのをふせぐ」役目をするのは「温室のビニールやガラス(44行目)」である。37～38行目にも、二酸化炭素が「温室のガラスやビニールの役目をして」とある。

問六 アは①段落の内容と合わない。イは⑥段落の内容と合わない。また、⑩～⑬段落で、花や野菜を作る温室と地球温暖化のしくみは「厳密に言えばちがう現象」だと説明されているので、ウもまちがひ。

P 41

1 (1) こうか (2) どうそう (3) けんり (4) つうかい

(5) すじみち (6) はげ (7) の (8) いただき

2 演奏 (2) 深呼吸 (3) 対策 (4) 開幕

3 秘密 (6) 危 (7) 供 (8) 訪

4 エ・c (2) イ・b (3) ア・a (4) ウ・d

5 あなかんむり (2) がんだれ (3) けものへん

(4) しかばね (5) おおがい (6) おいかんむり

(7) おおざと (8) えんによう (9) れんが(れっか)

6 ぎょうがまえ

7 (1) ア (2) ウ

(3) ア (4) エ (5) イ (6) ウ

(7) ア (8) エ (9) イ (10) ウ

(1) ア (2) ウ

(3) ア (4) エ (5) イ (6) ウ

(7) ア (8) エ (9) イ (10) ウ

(1) ア (2) ウ

(3) ア (4) エ (5) イ (6) ウ

(7) ア (8) エ (9) イ (10) ウ

P 46

替 〔あやしいかん板〕

① このさきはいきどまりひきかえしてください

② こんどのにちようびにここではなびたいかいをやりませ

③ むかしながらのあじをつたえるわがしやです

④ あたまがよくなるのみものをかいはつしました